

1. 次の日本国憲法の条文に関して、以下の(1)から(4)までの問いに答えなさい。

第四十五条 衆議院議員の任期は、(A) 年とする。但し、衆議院解散の場合には、その期間満了前に終了する。

第四十六条 ①参議院議員の任期は、(B) 年とし、(C) 年ごとに議員の(D) を改選する。

第四十七条 ②選挙区、投票の方法その他両議院の議員の③選挙に関する事項は、法律でこれを定める。

(1) (A) から (D) に当てはまる適当な語句を答えなさい。

(A) (B) (C) (D)

(2) 下線部①に関して、現在の参議院議員の被選挙権を持つために備えていなければならない条件を答えなさい。

(3) 下線部②に関して、平成28年の第24回参議院議員通常選挙から、鳥取県、島根県、徳島県及び高知県に導入された制度の名称を答え、その趣旨を簡潔に説明しなさい。

(名 称)

(趣 旨)

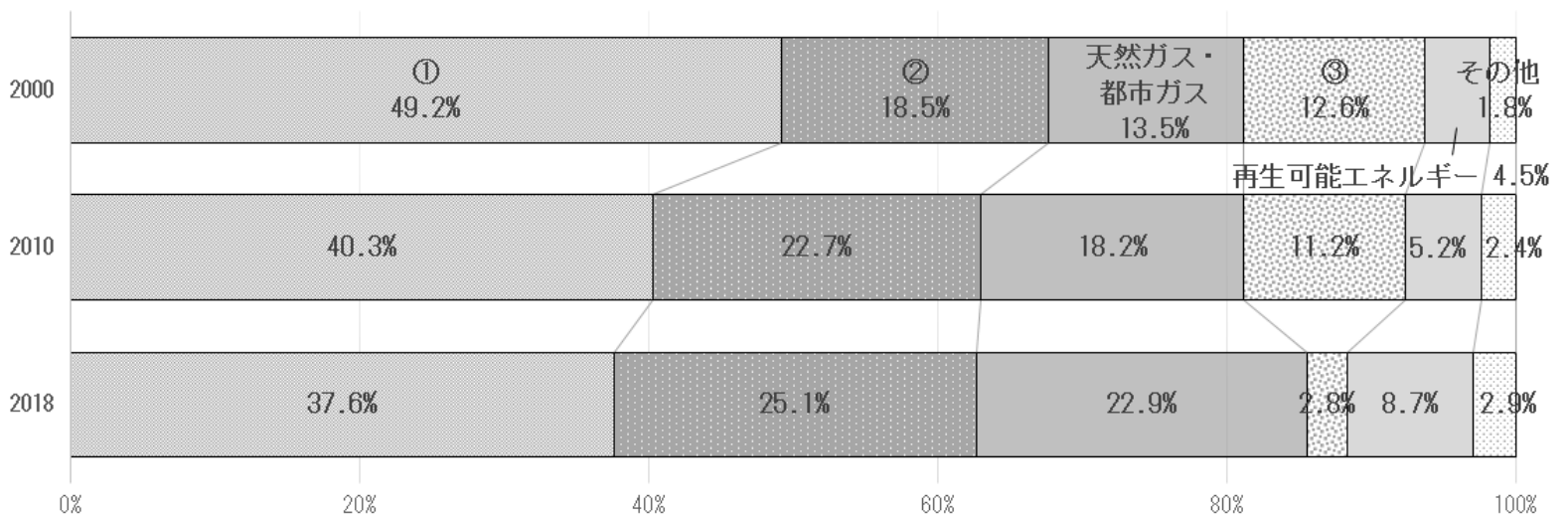
(4) 下線部③に関して、参議院議員通常選挙と衆議院議員総選挙における比例代表選挙の制度上の違いについて、次の語群から三つ以上の語句を使用して簡潔に説明しなさい。

全国、都道府県、ブロック、11、選挙区、政党名、候補者名、重複、拘束名簿式、非拘束名簿式

2. 以下の(1)から(4)までの問いに答えなさい。

(1) 下図の①から③に該当する適当な語句を答えなさい。

一次エネルギー国内供給の推移



① ② ③

(2) 2010年(平成22年)以降、③のエネルギーの占める割合が減少した理由を簡潔に説明しなさい。

(3) 化石燃料以外のエネルギー源のうち永続的に利用することができるものを利用した再生可能エネルギーについて、代表的なエネルギー源を3つ答えなさい。

.....

(4) 我が国のエネルギー自給率の現状と課題について簡潔に説明しなさい。

.....

.....

.....

3. 次の文章を読んで、以下の(1)から(5)までの問いに答えなさい。

国際経済・金融体制の基礎は戦後に形成された。まずは(A)協定により、国際通貨基金(IMF)、国際復興開発銀行の設立が決まった。同時期には、自由貿易の拡大を目指して(B) (関税及び貿易に関する一般協定)が作成された。なお、(B)は、後に①世界貿易機関(WTO)へと発展的に解消することとなる。国際通貨基金、国際復興開発銀行及び世界貿易機関は、②取り巻く環境の変化を経験しつつ、現在においても重要な役割を担っている。

また、我が国は、国際情勢の流動化、人口減少など、日本の内外の経済環境が厳しさを増す中で、③経済外交を積極的に推進するため、④経済連携協定(EPA)・自由貿易協定(FTA)、エネルギー、鉱物資源、食料の安定供給、漁業、インフラ海外展開、日本企業支援等における取組を積極的に推進している。

(1) (A)及び(B)に入る最も適切な語句を答えなさい。なお、(B)はアルファベット4文字で答えなさい。

(A) (B)

(2) 下線部①に関して、世界貿易機関(WTO)の基本原則でもある「最恵国待遇」について簡潔に説明しなさい。

.....

(3) 下線部②に関して、1980年代の動きに関する次の記述について、(C)及び(D)に入る最も適切な語句を答えなさい。

1980年代前半、アメリカは、(C)赤字及び(D)赤字の二つの赤字(双子の赤字)に悩まされていた。こうした中、1985年、国際協調に向けて、アメリカ、日本、イギリス、フランス及び西ドイツの先進5か国による大蔵大臣・中央銀行総裁会議が開催された。

(C) (D)

(4) 下線部③に関して、我が国は、二国間のみならず、多国間の枠組みにおいても積極的な取組を行っている。このうち、「アジア太平洋経済協力」と呼ばれ、2010年(平成22年)には横浜で首脳会議が開催された、アジア太平洋地域の21の国と地域(エコノミー)が参加する経済協力枠組みの英語の略称をアルファベット4文字で答えなさい。

.....

(5) 下線部④に関して、経済連携協定(EPA)・自由貿易協定(FTA)のそれぞれについて簡潔に説明しなさい。

.....

.....

.....

.....

【作文】

『私とSNSの上手な付き合い方』